



国産ビールの貢献者。喜多郡内子村(現、内子町)出身。愛媛県尋常中学校(現、県立松山東高等学校)を経て京都の第三高等学校(現、京都大学)を卒業し、大阪麦酒株式会社(現、アサヒグループホールディングス株式会社)に就職した。そして、ビールの本場ドイツに留学して6年間ビールづくりを学び、帰国後、大阪麦酒(後に大日本麦酒)の吹田工場に勤めて技術改良に取り組んだ。

昭和12(1937)年、大日本麦酒の社長に就任。当時の日本は大変な不景気で経営は困難を極めたが、ビールの完全国産化に成功してビール産業隆盛の基礎を築きビール王と呼ばれるまでになった。

龍太郎は、日本の経済界を支える一方で政界にも進出、昭和22(1947)年、日本商工会議所会頭となり、同年には参議院議員に当選し、昭和26(1951)年、通産大臣に就任して戦後の日本経済の立て直しに尽力した。また、私財を投じてプロ野球球団「高橋ユニオンズ」を設立し、日本サッカー協会会長を務めるなど、スポーツ界の発展にも大きく貢献した。

略歴

明治8(1875)年7月15日	喜多郡内子村に生まれる。
明治26(1893)年	愛媛県尋常中学校を卒業。高等商業学校(現、一橋大学)に入学 脚気のために休学。箱根・愛媛で療養
明治27(1894)年	第三高等学校に入学
明治31(1898)年	大阪麦酒入社。ドイツに留学
明治37(1904)年	帰国。吹田工場に勤務
明治39(1906)年	吹田工場長に就任。日本・札幌・大阪麦酒が合併し、大日本麦酒株式会社が設立される。
明治41(1908)年	馬越社長と欧米視察をおこなう。
大正6(1917)年	大阪支店長となる。
昭和12(1937)年	大日本麦酒株式会社社長に就任
昭和21(1946)年	貴族院勅選議員となる。東京商工会議所会頭となる。
昭和22(1947)年	日本商工会議所会頭となる。第1回参議院議員選挙全国区当選
昭和24(1949)年8月	社長辞任
9月	過度経済力集中排除法により大日本麦酒株式会社が解散し朝日麦酒株式会社(現、アサヒグループホールディングス株式会社)・日本麦酒株式会社(現、サッポロビール株式会社)発足
昭和26(1951)年	通産大臣となる。
昭和42(1967)年12月22日	92歳で永眠。墓所は東京都港区愛宕の青松寺

〈関連図書〉

- ・大塚栄三『高橋龍太郎翁』新文化研究会 1950年
- ・安岡和雄『日商会頭の戦後史』ビジネス社 1986年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
- ・アサヒビール社史資料室『Asahi100』アサヒビール株式会社 1990年
- ・『発掘えひめ人ー近代を拓いた101人ー』愛媛新聞社 2002年

〈主な収蔵資料〉…(P206, 50)

〈ゆかりのある場所〉…(P283, 79~80)

〈関連施設〉…文化交流ヴィラ高橋邸

〒791-3301 愛媛県喜多郡内子町内子2403番地 TEL: 0893-44-2354